

第32号
(12月号)
2015年
12月1日

七里ヶ丘子ども若者支援研究所

それが社会参加だ！

住所:鎌倉市七里ヶ浜 2-31-12
携帯:090-7212-4055
Email:qq5656r9@happtown.ocn.ne.jp
編集長:新舛秀浩
編集責任者:滝田衛

コラム風 リレー講演会 & フリートーク 子ども若者の生きづらさを理解する

11月8日(日)午後2時~5時

第2章 子ども若者が生きやすい社会へ

「大人社会が変わるために ~社会と教育の仕組みを変える~」

講演者&パネラー 高島智子・加藤彰彦(野本三吉)・島根三枝子さん

雨天にもかかわらず東京や藤沢・大和・横浜・鎌倉・逗子そして地元横須賀から 48 人の参加をいただき、充実した講演会が開催できました。会員・支援者のみなさまにご報告いたします。

子ども達が希望を失わないように願って(小川)



参加者を笑顔で受付:川辺・伊藤^{正夫}・山本さん(会員)がお迎え。安川有里さんの清楚で和やかな司会で開会。ご来場の井坂新哉(県議会議員)・葉山直(市議会議員)さんのご挨拶で講演会が開始。最初に高島智子さん(青少年育成推進委員)が自治会館を利用しての学習支援「たすき塾」開設後4年を語り、地域の子どもを地域の人が育てる実践に深く共感をえました。加藤彰彦さんは小学校教員からケースワーカーをへて沖縄大学学長で終えた40年から、その多彩な人生で出会った子どもから学んだことを深く熱く語ってくれました。特に沖縄の現状と子どもたちの姿には胸を打たれました。休憩後、島根三枝子さんは不登校の子育てから地球屋(居場所)そして代々木高等学院カウンセラーへ、子どもに寄り添う実践から見えた親子の愛憎を赤裸々に吐露してくださいました。最後はフリートーク。長谷川ひろみさんは発達障害のお子さんが公立中学校でいじめ被害、オルタナティブスクール入学で開放された思いを。稲森文子さんは学童保育にあらゆる子と親の願いを受け入れる実践を。北澤光子さんは家庭と学校をつなげるカウンセラーの実際の報告を。まとめを講演者3人にして頂き散会しました。加藤さんの書籍紹介を涌井貴暁・宮坂さんが丁寧に進めてくれました。龍崎明信さん(会員・会社員)が部活動応援誌発行を、最後に芦田正博さん(スクールソーシャルワーカー)講演会案内をしてくださいました。参加者は48名(女性27人、男性21人)でした。(滝田) << 以下に、参加者のご感想を紹介しします。感謝申し上げます >>



○・・・本日のテーマの大人社会を一体どう変えればいいのか。・・・大まかな方向性や柱建てくらいは欲しかった気がする。・・・積み重ねていって体系化できればいいと。(匿名)

○26年間の中学教師を(昨年)やめました。いまだに教師の頃の事を夢に見るほど染みついた教師的な価値観をあらためて加藤さんのお話で気づかされました。生き辛い世の中ですが、子ども達が希望を失わないように願っています。(小川悟さん)

○子どものいじめ・貧困は見えにくいと思います。特にいじめの問題は国や学校が数値化して0(ゼロ)にしようと発想したとたんに、特に違う圧力として弱い者にのしかかってくるように思いました。理想は加藤さんのように子どもからの発信を待つことだと思います。(守田洋さん)

○困っている子、嫌な事をしている子に素直に声をかけたり、注意した子がダメになってしまう世の中、本当に考えさせられました。(坂井瑞弥子さん)

○向きあってくれる大人がいること、自立って支えあうこと、話せる居場所が必要、抱える愛情が…あーわかっているようでできていないことに気づかせてもらいました。話す＝離す(手離す)なるほどー！！(中西由美子さん)

○たすき塾に子どもが通っていました。塾の立ち上げまで色々な苦勞をされていたのを知り、改めて先生方や地域の方々に感謝したいと思います。(匿名) ※抜粋で失礼します

小幡沙央里訪問記 ステキな場所「たまりば」 2015年11月11日

川崎市子ども夢パークへ視察に行ってきました。津田山駅から歩いて5分ほど。ここは「川崎市子どもの権利に関する条例」を実現する施設です。遊び、交流し、育ち、学び、子どもがあらのままにいられる居場所です。全天候型スポーツ広場、音楽スタジオ、交流スペース、乳幼児親子の部屋…夢パーク内には公設民営のフリースペース“たまりば”もあります。公設民営のフリースペースってかなりめずらしい。



年齢や国籍、障がいのあるなしに関わらず集います。(たまりばHP 部屋のかんじ より)

さて、夢パークですが、まず驚くはその広さ。なんと10000㎡！！子どもたちが走り回ろうが騒ごうがなんのその。声をあげたり、動き回るのは楽しいですよ。遊具も子どもたちの手作り。写真にある滑り台も手作りです。「個性を伸ばそう」というようなことをうたうのではなく、“ありのままの自分”でいられること、“生きていること”を喜んでもらえる場所。個性、って言葉は誤解されがちで。足が速いとか、絵がうまい、とかそれも個性ではあるけれど、歌が下手、計算が苦手、も個性です。得意なこと=個性ではありません。“個性を伸ばす教育”にプレッシャーを感じる子もいます。いいじゃない、難しく考えずに。君は君でいいんだよって言ってもらえる場所。それが“たまりば”です。いいなあ、ここ。たまりばも夢パーク自体も。公設でもこんなに素敵な場所が作れるんだ！と嬉しくなりました。

それぞれの風



○東京大学と日本財団が進める異才発掘プロジェクト(ROCKET)に中1男子Zさん合格、2年間寄りそった素敵な子。おかげでデルクターの中邑賢龍教授(教育)・福本理恵(食育)氏にお会いする機会を得た。中邑氏は穏やかな怪物(失礼)と感じた。Zさんとお母さまに心よりお礼です。学校との連携と成長が楽しみ。Zさん輝いて！ましたね。

○12月は「子ども支援神奈川連絡会 子どもの居場所とつながり」(1日)「インクルージョンネットかながわ 子ども若者と共に暮らす地域づくり」

よこすか神輿パレード(撮影川辺) (12日)でお話を。居場所と地域、市民自治。“子ども若者育成支援推進法(内閣府)”の具現化と実感。高橋亮さん(サホセン)からインタビュー(横須賀日日新聞)

○11月は旧知の教育関係者と共に我が家でBBQを。4年連続です。穏やか午後の一時、お世話になっている神奈川新聞青木部長さんや安川元県議もいらしてワイワイと、でした。そして長きにわたって僕自身の生き方の範を示し必死に食らいついている加藤彰彦さんの講演会を開けて、最高でした。更に高島・島根さん他応援団が加わりこの上ない幸福。お元気で(滝田)

【ご参加下さい】
応援団会議は横須賀市民サポートセンター午後2時～4時会員の自由な集まりです。

12月研究所日程(駐車場有)相談時間10～16時土日訪問要相談

3日(木)	相談	20日(日)	応援団会議
7日(月)	他事業	21日(月)	他事業
10日(木)	相談	24日(木)	他事業
14日(月)	相談	28日(月)	休業
17日(木)	相談	31日(日)	休業